意見の概要	意見に対する考え方
・様々な視点から検討されており、妥当な結果	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・妥当な候補地判断 ・鹿児島市との連携を図り、駐車場等とのアクセス向上はもちろん、ウォーターフロントパーク緑地等の休憩場所としての利用も配慮するなど、利用者目線での工夫をお願いしたい。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。 ○利用者目線での工夫については、基本構想(案)において、「動線や滞留空間の確保など、観客、競技者、大会運営者、それぞれの立場における快適性に配慮する必要がある。」(P49)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。
・整備候補地の評価結果はこれからの発展を考えていない。 ・中心部に集中させすぎて渋滞が一層酷くなることも忘れてはいけない。 ・ドルフィンポート跡地を中心に検討するなら、フロントパークを住吉街区へ移転しドルフィンポート跡地とフロントパークを一体化して建設すべき。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアのまちづくりについては、平成 31 年 2 月に 「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。

意見の概要	意見に対する考え方
・大規模自然災害発生時の防災拠点としても活用できるようにしてもらいたい。 ・イニシャルコストはかかっても桜島からの距離が離れ、津波や浸水の恐れのない高台に造成を行ってでも整備候補地にするべき。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P 4 9)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備予定地の選定」をご参照ください。
・新しい体育館は災害時の避難施設としても使えることが重要・災害で使えなくなるかもしれない場所でいいのでしょうか?・税金の無駄使いにならないよう熟考ください。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。 基本構想 (案) においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P 4 9)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・5ヶ所の県当局の決めた整備候補地だけではなく、すべての候補地の評価基準に基づく評価結果を明確にすべき。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○先般開催された第8回の検討委員会において、県議会からの提案や知事へのたより等でいただいた要望箇所のうち評価可能な土地について、候補地を絞り込む際に用いた12の評価項目により評価を行った結果についてお示ししたところです。(第8回検討委員会資料参照)
・ドルフィンポート跡は大反対です!!体育館は住吉町15番区にすべき。 ・ドルフィンポート跡は広いスペースのまま出来るだけフラットな活用をし、雄大な桜島、 錦江湾を前に市民県民の心の癒やし場所とすべき。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
 ・ドルフィンポート跡地は商業地域として衰退している天文館地区の復興のための最後の聖地。 ・体育館は天文館との人流や回遊性が望めず、天文館の魅力の衰退にも影響するものと懸念。 	 ○新たな総合体育館の経済波及効果については、基本構想において、施設の維持管理・運営や来場者の行動に伴う効果として年間約54億円の効果を想定しているところです。(P38) また、検討委員会においては、天文館関係団体を含む関係団体から御意見をいただいた結果をお示ししております。(第8回検討委員会資料参照) ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・評価結果を一般論として捉えている。・個別の体育館やサッカースタジアムにとっての評価基準や結果が必要。・体育館は、本港区のグランドデザインに沿った建物なのか?深掘り検証が必要。・まちづくりや将来展望も見られない。意図的、誘導的な県当局の結論ありきの姿勢見られ、必ずや問題が残る。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンボート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○本港区エリアのまちづくりについては、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセ
・場所ありきの評価。住吉町 15 番街区やドルフィンポート跡地は体育館建設地としては決して相応しくない。 ・この5箇所に限定して評価するのではなく,現在の体育館並びに鴨池ドーム一帯も候補地に加えるべきではないかと思う。	プトに基づき検討していくこととしております。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・妥当。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・現在の鹿大水産学部を他地区へ移動。 この地は、メインアリーナ、サブアリーナ、柔剣道場、その他国際会議場、作ってもたっぷり有ります。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。

·	·
意見の概要	意見に対する考え方
・近年温暖化による世界中活火山の噴火が増え、危険性が高まっており、沿岸部での建設はありえない。再考を願います。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P 4 9)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備予定地の選定」をご参照ください。
・スポーツイベントの回遊性や大隅半島や離島からの交通を考えると与次郎地区やまたは現在の県の体育館を立て直した方が良いのではと思います。 ・本港区は1月3日の地元新聞で掲載されていた南風農菓舎の郷原氏が提案されていた鹿児島県と鹿児島市と大隅半島の観光の窓口を目的とした施設を作っていくのも良い提案だと思いました。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアのまちづくりについては、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。
・評価基準やその評価結果からは、現場の実情がよくイメージできません。 ・ジクソーパズルのピースをつくるための手法で、ピースを無理に決めているような評価結 果	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・一般の素朴な意見を集約することも大事にしてほしい。 ・ドルフィンポート跡地になると、前回リコール運動まで発展した所を躊躇することになりますが、それでいいんですか? ・県民の意見をしっかり聞いて県議会で十分な論議をお願いしたいです。	○基本構想の策定に当たっては、この意見募集を参考とさせていただくとともに、改めてパブリックコメントを実施する予定としております。○また、県議会での御論議を踏まえ、基本構想として策定する予定です。
・ドルフィンポート跡地は、どんな建物であれ、最高の立地条件であることは当然至極・ドルフィンポート跡地と決めた後で、県民にこのような評価基準や評価結果についての意見を聞くのは、最初から「場所ありき」で、鹿児島県民を愚弄しているようにしか思えません。・アスリートファーストの総合体育館であれば、経済効果や回遊性、宿泊施設等々も、それほど重要ではないような気がする。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○新たな総合体育館の経済波及効果については、基本構想において、施設の維持管理・運営や来場者の行動に伴う効果として年間約 54 億円の効果を想定しているところです。(P38) また、検討委員会においては、天文館関係団体を含む関係団体から御意見をいただいた結果をお示ししております。(第8回検討委員会資料参照)
・ドルフィンポート跡地は県の中心であり県全体の玄関口 ・この様な鹿児島県の一等地に、わざわざ体育館を建てる必要ありますでしょうか?10 年後 20 年後を考えて下さい!ここを中心に鹿児島各地に観光に来られる方の方が何十倍の経済効果があると思われます。 ・私の理想として、鹿児島らしい観光スポットや飲食店、ホテルが立ち並ぶ、世界の富裕層が集うイタリアのミラノのようなヨットハーバーがあり、そして夜景もきれいな(函館や神戸のような)海辺がある施設は魅力あります。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・県の体育館の建設地は鹿児島市内に固執する必要は無いのではないか。県民全体のことを考えて、また、県外からの来訪者のことも考慮し空港から近く、広い駐車場(1000 台程度)を備えたものを、災害時にはすぐに避難場所として、防災の拠点として利用出来るようなものを建設したらどうだろう。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
	○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約 2,270 台)の利用も想定される。 」(P30)とされたところです。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。
	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が0.5m未満の洪水浸水区域に含まれております。 基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P49)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート跡地は商業施設としての活用が良い。 ・農業試験場跡地は遠方からは高速道路を使う。市電は谷山電停からは 合いバスの乗り継ぎが出来る。農業試験場跡地が良いと思う。	○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照)
・ドルフィンポート跡地はウォーターフロントの一等地であり港湾都市鹿児島の顔となる地域ですので体育館は利用目的として不適です。・鹿児島には市営鹿児島アリーナがすでにあり、総合体育館はここだけで十分です。・お洒落なシーフードレストランや全天候型プレジャーボート基地などの営利企業を誘致整備するべきです。	○現体育館は、築後60年以上が経過しており、老朽化していることに加え、多くの競技で大会を実施するには狭隘であるという課題があります。また、県内には、他にも県大会等の開催に十分な競技面積を有する屋内スポーツ競技施設がなく、複数会場での分散開催や夜間に及ぶ大会運営などにより、選手や関係者に負担が生じております。 さらに、県内には全国大会や国際大会の基準を満たす施設がないことから、県民が一流のアスリートの競技を間近に観戦できる機会を十分に得られていない状況もあります。 基本構想(案)では、新たな総合体育館について、これらの課題を踏まえ、屋内スポーツ競技の中核的施設として整備することとしております。(第4回検討委員会資料参照) ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・観光にとって1等地のドルフィンポート跡地に体育館を建設することは将来の鹿児島にとってのマイナスは大きい。・ドルフィンポート跡地へのアクセスを優先すべき。先ずはアクセスを良くしたうえで施設を建設すべきで順序が逆。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・あの場所は観光誘致に最適なウォーターフロントとして他自治体でも喉から手が出るほど 欲しいとても素晴らしい場所。そこに体育館というのは全く理解できません。 ・鹿児島アリーナの近くに住んでいますがそれほど稼働しているとは思えません。これを共 同で使用すべきです。	○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。 ○現体育館は、築後60年以上が経過しており、老朽化していることに加え、多くの競技で大会を実施するには狭隘であるという課題があります。また、県内には、他にも県大会等の開催に十分な競技面積を有する屋内スポーツ競技施設がなく、複数会場での分散開催や夜間に及ぶ大会運営などにより、選手や関係者に負担が生じております。 さらに、県内には全国大会や国際大会の基準を満たす施設がないことから、県民が一流のアスリートの競技を間近に観戦できる機会を十分に得られていない状況もあります。 基本構想案では、新たな総合体育館について、これらの課題を踏まえ、屋内スポーツ競技の中核的施設として整備することとしております。

意見の概要	意見に対する考え方
・市と十分な協議をし、一体的な地域活性化事業として取り組んでほしい。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。
・評価項目の一つとして「景観への影響」を設けるべきだったと考えます。同基準が設けられていなかった結果、評価結果で景観への影響についての言及がないことに重大な憂慮を覚えます。 ・桜島の鹿児島市からの景観は世界に誇れるものであり、この視点をおろそかにすることは、観光のグローバルスタンダードから見ると大きな痛手を被りかねないものになるとの大きな危惧をもっております。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・私は新体育館建設自体は青少年はじめ広く一般市民に益するものとして賛成しますが、その場所を、「ドルフィンポート跡地」にすることだけは反対。・ドルフィン跡には、桜島の景観を保持するために、景観を損なう大きな建造物を建てて欲しくないからです。・鹿児島の街作り全般、将来像、大きなビジョンを描いた中で、またコロナ後の世界での価値観、幸福感、鹿児島の人々の幸福について大いに想像し議論して、もっと慎重に決めて行ってほしいです。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。

意見の概要	意見に対する考え方
・屋内施設は非常時に避難施設となることも想定されるかと思いますが、海の近くでは台風や津波の際に避難施設として使用することもできず、長期的な運用を勘案すると不適格ではないでしょうか。 ・経済波及効果については、鹿児島市の球技専用スタジアム建設の場合とどちらが経済効果が高いのかを第三者が比較した資料等を公開する必要があるように思います。 ・選定にあたっては様々な意見等があり苦労されるかと思いますが、今後何十年と使用される施設なので、持続可能な施設となるようしていただければと思います。	○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。基本構想 (案) においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P49)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想 (案) において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。
	○施設の持続可能性については、基本構想(案)において、「施設の運営に当たっては、収益の改善に寄与することが期待できるコンサート・イベント等の多目的利用について、スポーツ利用を優先することを前提に積極的に活用するとともに、今後検討を行うPPP/PFI手法において附帯施設に民間活力を導入するなど、施設の持続可能性の観点にも十分留意しながら検討を進める必要がある。」(P50)としております。 ○具体的には、今後、整備・運営手法を検討する段階で施設の持続可能性にも最大限配慮し、詳細に検討してまいりたいと考えております。
・整備候補地について、全国大会やコンサート等行う事や津波や洪水等防災面から見ても、 霧島市溝辺の県が所有する工業団地に建設すべきと考える。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・体育館とスタジアム等と飲食スペースを共有しなければルフィン跡地利用する意味がないと思う。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムについても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。
・鹿児島市本港区は利便性も回遊性もあり、天文館地区の起爆剤にもつながる可能性は高い。 ・鹿児島市との連携でスタジアムとの一体化。スポーツ地区としての場所ができる事は大変 良いことだと思う。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムについても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体
	育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公 共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくり の検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児 島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。
・開かれた委員会での選定方法なのでこれ以上建設場所をうんぬん言うべきではない。 ・重要な点は県都鹿児島市という目線が鹿児島県と鹿児島市の行政の思惑の綱引きになって は、100年に一度のビッグプロジェクトにはなりえないと思う。県と市で密な意見調整をし た中で、県民の意見も踏まえた今後の展開を期待します。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
 ・ドルフィンポート跡地に体育館建設をすることに反対。 ・ドルフィンポート跡地は鹿児島で1番の最高の立地です。観光の拠点にすべき。 ・スポーツ施設は鴨池周辺に集中させるべきです。 	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ 世間の拠点機能に加え、コンサート・インとは、第0名目的利用による交流機能能を構造され
	振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・体育館の利用者は、色々な道具が多く、島の人を除いてはほとんどマイクロバスなど自家 用車で来ます。即ち一番の問題は駐車場。・今回からは駐車場だけではたっぷりたっぷりと るようにしてもらいたい。	○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約 2,270 台)の利用も想定される。 」(P 3 0)とされたところです。

意見の概要	意見に対する考え方
・広場の入り口あたりにコンベンション施設という説もありましたが、その位がいい。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○歴児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料
	3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・十分な駐車場が確保できる場所ならば谷山地域ではないでしょうか?	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約 2,270 台)の利用も想定される。 」(P30)とされたところです。

意見の概要	意見に対する考え方
・ウォーターフロントパークは県内外の人々がなれ親しんできた場所です,この跡地に体育館で海・桜島を見えなくする愚行はさけるべき。 ・体育館は候補に上がっている駐車場も十分とれる谷山の方に作っていただきたい。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
・「ドルフィンポート」等の海岸地区に立地する事には危惧しておりました。・近景については、当地に体育館ができる事で景観がそこなわれると思っています。当地は自然景観を尊重すべきで、それを中心に整備していただきたい。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・永い間体育館をどこに作るか議論されています。ウォーターフロントパークだけは避けて ほしいです。そこに作って桜島に壁をするのは反対です。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・候補地としては賛成です。桜島の景観・錦江湾が望めるようクリスタルをふんだんに使い、太陽の明りが輝く・南国に相応しい建築設計を取り入れてほしい。	○施設のデザインについては、基本構想(案)において「その施設のデザインなどが鹿児島 港本港区エリアにふさわしいものとなるよう、検討を進める。」(P45)としており、具体 の意匠やデザイン等については、設計段階で検討してまいります。
・鹿児島を代表する景観がそこなわれるので、もう少し考えてほしい。ドルフィンポートの前にカベをして景観が悪くなり桜島が見えなくなってしまう。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・ドルフィンポートの所に高層な建物ができると桜島の景観が悪くなる。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。

(明1 正備)(間207日 圖至-	中次 日 岡州 木 で 因 テ る こ こ ブ
意見の概要	意見に対する考え方
・利用者による天文館地域との回遊性、消費を期待するのであれば中・高生が利用中心の体育館ではない。 ・超一等地である本港区利用について県・市が一体化となって考えてほしい。	 ○新たな総合体育館の経済波及効果については、基本構想において、施設の維持管理・運営や来場者の行動に伴う効果として年間約54億円の効果を想定しているところです。(P38)また、検討委員会においては、天文館関係団体を含む関係団体から御意見をいただいた結果をお示ししております。(第8回検討委員会資料参照) ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○使児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。
	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムや市電路線延伸についても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。
・周辺の交通機関や施設が充実しているため、立地環境は良い。ただ、ドルフィンポート跡地だと津波が心配です。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。 (第 6 回検討委員会資料 参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が $0.5m$ 未満の洪水浸水区域に含まれております。 基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P49)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。
	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポートはやめてほしいです。・陸上競技場などのつながりがある県庁の近くがいいと思います。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・評価基準では景観面・現状を変更することへのデメリットについてはなんら盛り込まれておりません。現状を変更することのデメリットはともかくとしても、ドルフィンポート跡地については景観面を懸念する意見が委員からも出ていたのですから、評価基準に加えるべきだったのではないでしょうか。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・ドルフィンポート跡地は、体育館を作るには最適の場所である。評価基準に照らし合わせても、最適だろう。 しかし、桜島を目前にした鹿児島の宝の地である。そこに体育館を作ることには反対。 ・ここは、市民や県民の心の拠り所、癒やしの場として自然公園化すべき。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・景観という言葉を市街地からのビューと短絡的に捉え、体育館をどの位置に立てれば眺望は邪魔されないという結論が導き出されたのは大変残念でした。鹿児島市の海際にわずかに残った、恵の海がすぐ近くにあることを実感できる空間のひとつが建物で埋め尽くされること自体が問題なのであって、どこに建てれば眺望を邪魔しないといった問題でなかったことは本当は皆わかっていたはずです。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・評価結果のとおり、ドルフィンポート跡地か住吉町 15 番街区が良いと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地は景観も良く、天文館にも徒歩でいけるので経済効果も期待できますね!・県の土地利用ができ、納得の候補地になったな!と思います!	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポートは、ご認識の通り交通アクセスにおいても景観においても、一等地。・塩田知事もマニフェストに掲げられているように特にこれから「観光」「農業」を基軸として、「稼ぐ力」をつけたいとする鹿児島県にとって、市内と県各地を結ぶこの場所は将来の要となる場所です。この稀有に優れた立地に(年に何回使われるかもわからない)総合体育館を備えることは、最善の策とは言えないのではないかと強く感じております。・この立地はクルーズをはじめとする「日本の南の玄関口」としての役割、そして市内⇒遠隔地・離島への人モノ流動のハブとなる場所であり、県の「稼ぐ力」創出の中枢となり得る数少ない場所であると考えております。賑わい創出のための手段は一つではありません。ぜひ慎重にご判断いただきたく存じます。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・評価基準及び評価結果については妥当であると考える	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・いいと思いますが、サッカー場や国際会議場も同じテーブルで議論した方がよかったと思います。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照)○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
・候補地を比較すれば、そうなるよなと思う評価基準と評価結果と思いました。 ・サッカースタジアム(球技専用スタジアムと呼んでほしい)の計画に対しても入り込む余 地を残した発言をしたのは評価できました。もう1歩も2歩も踏み込んだ鹿児島市との連携 を期待します。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムについても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・県民にとって誰もが納得する将来像:ビジョンが感じられないままのスタートだけはしてほしくない,なぜならばそれらは政治や建築の「暴力」に成りうるからです。「魅力的な街」「魅力ある本港区」「賑わいの創出」「国際化」という概念が紙面に散らばりますが、では「この土地ならではの魅力」とは何か、「賑わうとは人が集まればいいのか」「各国から選手が来れば国際化なのか」1600年代から続く埋め立ての歴史や鶴丸城・城山が守ってきた「桜島との対話は保証できるのか」・・新体育館云々の前に、様々な共通概念をクリアにして確認し合わなくてはなりません。	○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に 「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。
・農業試験場跡地については周辺に住宅地があり、配慮が必要とのことであるが、鹿児島市の西原商会アリーナなども同様な立地であるのにもかかわらず、これまでスポーツ競技大会や大きなコンサートやイベントが行われてきた。 ・谷山駅とバスで直結するイオンモール鹿児島から産業道路沿い卸本町~南栄エリアも含めれば、今後当該施設の整備が終わるころの状況は、現時点での評価基準を当てはめてよい状況だろうか?同エリアは、日に日にその賑わいを増やしつつある傾向だ。	○御指摘の施設を含め、近隣に住宅がある施設においては、イベント開催時や準備・撤去時に周辺住宅への配慮を行っていると伺っているところです。 ○御指摘の候補地を含めたいずれの候補地についても、今後、まちづくりが進められていくものと考えます。 ○今回の評価は、各候補地の優劣をできる限り客観的に判断するため、現時点で把握できる各候補地の現状を踏まえて行ったところです。
・ドルフィンポートが鹿児島市内では1番ロケーションも良く目の前に桜島も有り又繁華街へも近くて良い場所だと考えます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・評価基準や結果などに特に意見はありません。よく検討されていると思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート跡地は、市内の一等地である。 ・体育館の建設場所は、離島などからくる学生のことを考えると利便性がいいところがいいことは理解できる。 ・そのような考えから体育館の建設場所としてドルフィンポートはふさわしいとは思うが、では、ドルフィンポートに建設すべきものとして体育館がふさわしいとは思わない。 ・一時的な大会、イベントとしてしか使われない体育館が、市内の一等地にふさわしいのかの検討が足りていないと思う。 ・早い者勝ちで、体育館を建設していいものか疑問が残る。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・スポーツ大会の集中化の招く弊害を評価できているとは言い難く、交通インフラを活用した地域連携による相乗効果も併せ、県全体としての振興施策の一貫となすべき姿勢で取り組むべき。・災害時の機能維持を含めた拠点施設としての役割、同系施設の的確な分散配置についても、留意すべき。・検討委員会での協議結果であるドルフィンポート跡地と住吉町15番街区の一体的なエリア(鹿児島港本港区エリア)を整備候補地としたことは上記意見に照らしても妥当と判断される。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート後に体育館はふさわしくない。・県庁前の方が良いのでは?	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備地予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・桜島というすばらしい景観をもつ都市として、桜島を望む側には背の高い施設を建てるべきではないと思います。 ・どうしてもここに建設するなら市電を海岸方面に延伸しないと、意外と歩くことになります。個別の箱ものづくりということでなく、トータルのまちづくりという視点ではいかがなものでしょうか。 ・現在のイオン鴨池店の場所がいいのではないかと考えています。その理由として、1.市民球場、県立運動公園、市営プール等も近く、スポーツ施設の「聖地」として県内外に知られている「鴨池」でプレーしたいというアスリートの気持ちを大切にしていだきたい。2.市電やバス停があり、アクセスがいい。谷山地区のような遠隔地でもない。3.市街地の中ではたいへん広い敷地である。そのため駐車場も世知できる。4.現在はイオンが経営しているが、元々はダイエーであり建物は築40年を優に超えており、老朽化が進んでいる。	 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアのまちづくりについては、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。
・アクセス,周辺環境,経済効果など多方面からの評価基準に対する評価結果が出ており, 理解できました。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・各分野の先生方が良識ある判断をされていますから敬意を表したいと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・災害が起きた時に、海岸沿いでは、対応できないこともあるし、体育館に入ってしまえば、桜島の景観など、意味がなくなります。ドルフィンポート跡地にはサッカー場、体育館は西谷山が最適と思います。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P 4 9)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備予定地の選定」をご参照ください。
・評価結果については、項目ごとの検討(総括表)にてまとめられているとおりで納得できる。・場所選定については、賛成できる。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新体育館の候補地案に「鴨池ドーム」を鹿児島市から借用し、使用をとの計画を提案したが検討候補からは除外された。・県都鹿児島市の街造り計画は「WF地区は天文館との回遊性を活かし、賑わいある街造りに活用を」と聞いている。なのに小中高生が主体で使う体育館建設を、賑わい有る街造り候補一等地に建設する考えが理解できない。・谷山候補地の採点が低過ぎたが、その低評価が谷山地区全体の発展の阻害要因となる事への対策も意見を聞かせて欲しい。	○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した12の評価項目に基づき5箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート跡地、住吉町 15 番街区に、整備を進めていく事に反対。鹿児島県における超一等地にふさわしい開発を望みます。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・鹿児島県と鹿児島市がしっかりと連携して柔軟かつ臨機応変に物事を決めて頂きたい。 ・現鹿児島市長が主張されたサッカースタジアムとアリーナを同場所に建設出来るというお 言葉に賛同します。	 ○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムについても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポートからの景観(桜島の)は是非とも今のまま残すべきだと思います。 ・鹿島市(アントラーズの本拠地)住んだ経験もあるが、アントラーズ試合のある日は、渋滞がひどく市内の至る所で交通マヒが起こっていました。駐車場も広大なものでした。ドルフィン跡地近くに体育館となると鹿島以上の混乱が予想されると思います。	 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。
・駐車場確保が一番の問題だと思います。車社会の鹿児島では最大の課題。充分な確保をお願いします。・鹿児島の人の心、桜島を満喫出来るドルフィン跡地です。景観を損なわない工夫をお願いします	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町15番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で500台程度、バス駐車場で50台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は300台程度と想定する。また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として100台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約2,270台)の利用も想定される。」(P30)とされたところです。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。
・桜島は鹿児島のシンボルです。これ以上桜島が見えなくなるのは残念です。高い建物はいりません。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・桜島は鹿児島のシンボルです。ドルフィンポートからの美しい景観は永遠に残しておきたいです。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・せっかくの桜島の前に体育館は残念です。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・検討委員会におかれましては新県総合体育館の整備地がドルフィン跡地(ウォターフロント)に決定されたことについて甚だ疑問を感じております。その理由は災害という観点からであります。近年、全国津々浦々で、気象変動に伴う風水害や火山噴火地震による津波など地球規模の災害が発生していることは、ご承知の通りです。特に今回のような新県総合体育館は体育館としての目的はもちろん非常時には災害対応施設としての活用も十部に考えられます。以上の観点から今回のドルフィン跡地への決定を撤回しウォターフロント以外の場所への検討を求めます。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P49)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
・海と桜島の景色を残す配慮が必要。今までのドルフィンは散歩や、いやしの場所でした。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・桜島の景観を損ねる。 ・場所を考えるのであれば、空港付近にも広大な敷地もあります。高速も近くにあり、便利 だと思いますが。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。
・桜島の景観に配慮してほしい。ドルフィンポート跡地ではなく他の場所に作って欲しいです。	 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・桜島の背景の素晴らしさ ・世界に類がありません。 ・新体育館は、ドルフィンポートでは無く、他の地を見当して下さい。 ・切望致します。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・桜島の美観が台無しになる可能性が、大であり、観光立県の立場上、反対です。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・桜島を面前にした場所の美観を損ねると思います。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・交通網(特に車)の混雑が心配。 ・桜島の景観を損なうのでは、と思う。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
	○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。
・交通が渋滞しませんか?	○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。
・ドルフィンポート一帯の広い景色は、こわさないでほしいです。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・景観の維持につとめて下さい。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・景観が悪くなる為。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・世界に誇る景観を生かすため、世の中の鹿児島県人だけで決めないで、広く日本中、世界中に公募してよい知恵を出してもらったら如何でしょう。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・あらゆる方向からよく検討されたと思います。何かきまりかけると反対・話が二転・三転・ 知事・市長が変わると振り出しに戻る行政のやり方に期待もしない県民が多いのでは? ・今回は反対意見にも充分な調査で対応もよく検討された。ぜひ、早期着工のお願いします。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・検討委員会で検討した結果(施設本体をドルフィン跡地に、駐車場を住吉町 15 番地区に整備すること)に大いに賛成いたします。評価結果(点)は大変的をえておりよく調査されていると感じました。景観にも配慮し検討されたことは大変な前進だと思います。これ以上二転三転する事のないよう早期着工を望みます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・評価基準、評価結果については妥当と考えますが、それは整備するものが体育館でなくても同様ではないでしょうか。 ・体育館自体は必要だと思いますが、重要な観光資源であるこの土地に建てる必要があるでしょうか。 ・街づくり、という観点から、大局的な検討がされたのか、疑問。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
	○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。
	○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・今回建設計画は、県が現在抱えている課題を俯瞰的な考えに基づいた街づくりが必要ということは多くの県民が思っています。未来永劫な街づくりの観点から県がリードし、鹿児島市や関係団体と積極的な協議を積み重ね、問題を克服する街づくりと世界に誇れる鹿児島づくりに気概を持って計画・実行してくれることを強く望みます。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
	○本港区エリアのまちづくりについては、平成31年2月に 「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザイン」を策定しており、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、同グランドデザインに基づき、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。
・ドルフィン跡地の体育館は反対です。桜島の景観が一番良い場所に何で建てるのですか。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・コンベンションセンター建設が適当・鹿児島のシンボル桜島がすばらしく見える場所を失いたくない。	○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。
・候補地が中心部にこだわっているような気がします、大きな大会が行われると大型バスの 往来も多くなり、交通渋滞が毎回起きる ・広い駐車場が確保できる場所がないかもっと県民からの意見を聞いた方がよい	○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・大きな建物で景観を損なうのはあの場所はもったいない・コンベンションセンターみたいな建物がよいのでは?	○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・景観を残すためには、大きな建物は欲しくないと思います。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・交通混雑・渋滞発生が気掛かりです。・渋滞とは遠の無い場所を希望。	○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。
・交通渋滞のない広い谷山地区が適当 ・副繁華街として谷山が発展し鹿児島市全体が良くなることが良いと思う	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
	○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・体育館建設には反対です。桜島の景観を永久に失なってしまいます。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・桜島が見えなくなりとても残念 ・後々後悔しないためにも大反対	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・鹿児島のよいところがどんどんなくなり寂しい。 ・なぜそこなんですか、理解できません	 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○庭児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・観光立国鹿児島の最高のロケーション地に全く不釣り合いな建物は論外、山の上に作れば良い!	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・桜島の景観が悪くなるのに総合体育館を建てるのは反対です。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・鹿児島の景観がものすごく悪くなる。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・人工的な空間が、ドルフィン跡地に出来てしまうのは残念、景観に配慮を願いたい。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・高速道路沿いインターチェンジ近くの広い広場に作って欲しい。例・谷山, 松元, 姶良 etc.	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約2,270 台)の利用も想定される。 」(P30)とされたところです。
・全国各地から人が集まる場所なので、もっと慎重に県民の意見を聞いてはなしあってください。	○基本構想の策定に当たっては、この意見募集を参考とさせていただくとともに、改めてパブリックコメントを実施する予定としております。○また、県議会での御論議を踏まえ、基本構想として策定する予定です。
・ドルフィン跡地, これから先, いろいろな催し物がある場所なので県民の意見をもっと慎重に聞いて決定してほしい。	○基本構想の策定に当たっては、この意見募集を参考とさせていただくとともに、改めてパブリックコメントを実施する予定としております。 ○また、県議会での御論議を踏まえ、基本構想として策定する予定です。

意見の概要	意見に対する考え方
・谷山方面、伊集院、国分方面と中心街ではなく、広い駐車場を確保できる場所でもよいのでは?	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約2,270台)の利用も想定される。」(P30)とされたところです。 ○具体的には、頂いた御意見も参考に設計段階で検討してまいります。
新体育館と供にサッカー場併設という話もあるが、集客や広さや芝生広場の扱いなど課題が多いのではないか	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、サッカー等スタジアムについても、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性については、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・広大な駐車場のスペースを確保出来る地域に建設していただきたい	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
	○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約 2,270 台)の利用も想定される。 」(P30)とされたところです。
・地域周辺の発展のためにも中心街ではなく,少し離れた場所に建設を願いたい。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・営利目的だけでなくもっと県民の意見を聞いて決定して欲しい	○基本構想の策定に当たっては、この意見募集を参考とさせていただくとともに、改めてパブリックコメントを実施する予定としております。 ○また、県議会での御論議を踏まえ、基本構想として策定する予定です。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポートの場所は大きな大会になると周囲の道路(例えば天文館などから)は混雑すると思います	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。
・総合体育館はドルフィン跡地に希望します。離島航路が就航するエリアであり,利便性が 高い。景観眺望問題ない。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・専門性と広範で高い見識を有している 13 名の方々が調査分析された公平な評価について大多数の市・県民は納得が得られる結果。その視点で施設本体をドルフィンポート跡地としたことは大賛成。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地に体育館、住吉町15番区に駐車場という案に賛成。 ・離島や鹿児島市外からの利用者のことを考えると、港からの距離、駐車場の確保、交通の 便等々とても条件がいい。 ・県外からの利用者のことを考えると、目の前に桜島があり、最高の景色が目の前に広がり ます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・鹿児島の新総合体育館の候補地にドルフィンポート跡地を選んだことに同意します。県民 の多くが集まりやすく、立地は最高だと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・本港地区のグランドデザインは365日賑わう場所と定義していたのにスポーツ関係者のみの利益となることには反対です。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑
	わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・1月18日の新聞の記事を読んで検討委員会は、ドルフィンポート跡地に整備を決定したとなっていましたが、県民の声を反映させようという最中に決定したという事に自分自身としましては、納得がいきません。景観を大事にするというならドルフィンポート跡地に作らないで欲しい。知事が言われたコンベンション施設だけでいいと思います。	 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、施設のコンセプトにおいて、スポーツ振興の拠点機能に加る。
	え、コンベンションなど多目的利用による交流拠点機能を有する施設とされたところです。 (第4回検討委員会資料参照)
・町の人の便利さだけで決められている気がする。・整備候補地の交通渋滞等の懸念等もある。	○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート跡地は海沿いにあり、防災面が心配	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照)
	○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。 基本構想 (案) においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P49) としており、具体的には設計段階で検討してまいります。
	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
もっと広い所に体育館をつくってほしい。知事がいわれている施設でいいのではないですか?	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
・ドルフィンポート一帯の広い景色を失いたくない。・ほかの広い土地に考えなおしてほしい。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・ドルフィンポートのところに体育館をたてないでほしい。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・ほぼ問題ないと思います。客観性、論理性があり正当だと思われます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地に体育館、住吉町15番区に駐車場という案に賛成です。 ・県内外から訪れる選手・大会関係者・観客の交通や宿泊、特に離島の生徒たちの利便性等 考えた場合最適と考えます。 ・県外から訪れた選手にとっては、鹿児島のシンボルである雄大な桜島を目前に眺めること ができ記憶に残り良き思い出にもなると思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・数年にわたり、多くの県民から指摘がなされているにも関わらず、鹿児島市との調整が進んでいないことに疑問を覚えます。体育館単独で考えるのではなくグランドデザインを検討する委員会を鹿児島市と一緒に起ち上げるべきではないでしょうか。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。
・評価結果においてドルフィンポート跡地、住吉町15番街区が非常に高い評価となっている。交通の便、経済的波及効果、駐車場の確保など考えるとこの地区が新総合体育館の候補地としては最適だと思われる。・県外からの参加者に鹿児島をアピールする意味でも桜島を一望できるこの地がふさわしい。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・最適案だと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・交通インフラがもっとも調っておりアクセシビリティの高い候補地を選定いただきまして、ありがとうございます。付加するのであれば、鹿児島市電を延伸するよう鹿児島市に働きかけていただきたい。	○本港区エリアのまちづくりを進めるに当たっては、総合体育館をはじめ、鹿児島市が計画する事業との調整が重要であることから、基本構想(案)において「まちづくりを所管する鹿児島市と緊密な連携を図りながら検討を進める必要がある。」(P50)としており、現在、県市の関係課の課長級職員で構成する連絡会を設置していることから、同連絡会において十分に協議してまいりたいと考えております。
・評価基準はよく検討されている。 ・評価結果については、ドルフィンポート跡地および住吉町15番街区が実現可能性として 極めて高く、候補地として妥当だと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地にぜひ体育館を造ってもらいたいです。ただの駐車場ではもったい ないし場所がいいので利便性もいいと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新県総合体育館の候補地はドルフィンポート跡地を希望します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・新県総合体育館の誘致は,ドルフィンポート跡地を希望	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新県総合体育館の誘致はドルフィンポート跡地を希望します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新県総合体育館の誘致はドルフィンポート跡地を希望します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新県総合体育館の立地場所はドルフィンポート跡地を希望致します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
年間どれぐらいイベントを誘致できるかわからず、経済効果も定かではない体育館に鹿児島市の一等地を用意するのは疑問です。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地に体育館を建設することについては、離島地域からも交通機関をそれほど乗り継がなくて良いという利点があると考えます。 ・また、天文館といった繁華街にも近いため、これらの地域との人の流れが活性化され、臨 港地区の発展が見込めると思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート跡に体育館建設は反対である。ドルフィンポート跡地は市内有数の景観を誇っており、観光客が利用することのない施設を建設するのはよくないと思う。交通量が多い町の真ん中に作るのではなく、郊外の空き地が多い南栄や卸本町など産業道路沿いの周辺に建設すればいい。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地に体育館を建築という案に賛成です。現体育館で行われた大会やイベントで県外から訪れた選手・監督・観客の方々は桜島が見えるホテルを希望される方が多く、これが会場で雄大な桜島を目の前にしての観戦が出来ることは、とても印象深く心に残る事と思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新県総合体育館の誘致はドルフィンポート跡地を希望します。 ・子供たちも鹿児島市に新しい体育館ができるのを、今から楽しみにしています。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・交通インフラがもっとも調っておりアクセシビリティの高い候補地を選定されたことはと ても良かったです。鹿児島市電の延伸と、バスはすべてノンステップになれば車椅子利用者 は非常に行きやすくなりますので今後の検討事項にして頂きたい。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・候補地の中で交通の便が1番整っていて、皆が行きやすい場所なのでいいと思う。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・「ドルフィンポートの跡地ありき」の評価点が大いに不満です。 ・「まち」はエリアとして全体的に考えるべきだと思います。総合体育館のような県民の利用する公共施設は空いているスペースに無理やり押し込むのではなく、きちんと「まちづくり」を考えて、長期的に計画して進めるべきです。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンボート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○本港区エリアのまちづくりについては、コロナ収束後の社会情勢の変化や総合体育館の活用状況等を注視しつつ、事業者公募で検討していた宿泊機能等はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、今後ともグランドデザインの開発コンセプトに基づき検討していくこととしております。
・整備地についてドルフィンポート跡地とした検討委員会による決定は大いに評価できる。 集客・移動方法・宿泊施設・他施設との有効なかかわり・鹿児島らしい景観など、どれをと っても一番良い場所と思う	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・新総合体育館の整備候補地として、ドルフィンポート跡地とすることに賛成の立場。集客及び街の賑わい創生の面や離島からの交通の利便を考え本港区が至近距離にあるということを考えると、ドルフィンポート跡地が最も適当であると考えます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地に体育館、住吉町15番区に駐車場という案に賛成です。桜島を目 の前に見える景観は、県外から訪れる大会関係者や観客に鹿児島をアピールできます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポートの跡地に建設することに賛成です。・諸般の問題を勘案しても最終的には、ドルフィンポート跡地以外にないと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・県立体育館はドルフィンポートの所でお願い致します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポートの跡地でいいと思います。眺めも良いし、悪くない場所だとおもいます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポートの跡地の利用としては良い。交通の便が良く,宿泊施設もあり,利便性 も良い。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・商業施設が集積しているところが良いと思う。住吉町15番街区とドルフィンポート跡地でよいとおもう。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィン跡地の選定は妥当だと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・県外からのスポーツ、イベント誘致でなら県外客へのアピールとして問題はない。県外からの誘致が薄い柔剣道場、弓道場は無理に纏めず別場所(谷山等)でも良いように思えます。	○基本構想(案)の施設配置案について、検討委員会では、建設コスト、維持管理コスト、施設の一体的利用の観点から、柔剣道場、弓道場を含む施設本体は一体的に整備することとされたところです。 (第7回検討委員会資料参照)
・評価基準が景観や県民にとって本当に必要かどうかについての検討が入っていないのは県の事業として欠落していると思う。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・景観の面で考えなおした方がよい	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・駐車場とか景観について問題ありと思います。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
	○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約 2,270 台)の利用も想定される。 」(P30)とされたところです。
・体育館は駐車場が広く取れる他の場所でもいいのではないのでしょうか。例えば谷山、始良、松元でも良いのでは?	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。
	○駐車場については、基本構想(案)において、「住吉町 15 番街区に、県大会等のスポーツ大会やコンサート・イベント等の利用を想定した駐車台数として一般駐車場で 500 台程度、バス駐車場で 50 台程度を計画する。多目的広場を臨時駐車場として利用した場合の駐車台数は 300 台程度と想定する。 また、新総合体育館近接に日常的な県民利用や関係者等の利用を想定した駐車台数として 100 台程度を計画し、障害者用駐車場については必要台数を確保する。大規模イベント開催時については、周辺の民間等駐車場(約 2,270 台)の利用も想定される。 」(P30)とされたところです。
・ドルフィンポート跡地ありきでなく、再検討してほしい。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート跡地はないように願っています。鴨池か谷山にお願いします。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・先ずもって景観こわれます。谷山方面くらいならよろしいかと思います。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料 2 「景観への配慮」をご参照ください。
・ドルフィン地域は鹿児島の顔だと思います。パノラマとしての桜島の景観を残して下さい。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料 2 「景観への配慮」をご参照ください。
・鹿児島と言えば全国の人は「桜島」と言います。観光のためにドルフィン一帯はこのまま 残してほしいです。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・相当な渋滞が考えられるとともに全体的な景観がそこなわれるのではないか。一体感のある街作りを考えて欲しい。	 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシ

・渋滞の恐れあるため場所の変更をした方がいい。	○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・ドルフィンポート一帯は鹿児島の観光の中心の場所、体育館は他の場所を検討してほしい。・駐車場を広く取る為には、谷山・松元を姶良・霧島市辺りでもいいと思います。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備予定地の選定」をご参照ください。 ○スポーツ利用に加え、コンベンションなどに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館について、本港区エリアを整備候補地として検討を進めていくこととなったことは、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて検討することとした、本港区エリアまちづくりの検討の方向性とも合致していると考えているところです。 ○鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性について、詳しくは、資料3「鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性」をご参照ください。 ○新たな総合体育館については、基本構想(案)で示されたコンセプトに基づき、スポーツ振興の拠点機能に加え、コンサート・イベント等の多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。
・新体育館をドルフィンポートの跡地に建設すると桜島、海との一体感がなくなり景観がそこなわれます。体育館は駐車場が広くとれる場所、桜島の観光に支障がない所に建設してほしい。 ・一般市民の大半は体育館に行くことはないと思います。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・鹿児島駅・錦江湾周辺の景観を損なわないでほしい。谷山方面の広い地域を希望します。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・鹿児島駅周辺は歴史のある町です。谷山、鴨池方面の振興地区が相応しいと思います。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。

意見の概要	意見に対する考え方
・あの場所(ドルフィンポート跡地)に大型の建物は必要ないと思います。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・周囲の景観、道路の混雑等を考慮すると大型体育施設の建設には賛成しかねます。	 ○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。 ○交通対策については、基本構想(案)において、「歩行者動線の確保や警備員・案内板等の配置による歩行者の誘導、移動時間の分散や中心市街地への誘導、公共交通の利用促進やシャトルバスの運行、施設や駐車場への出入口と動線の工夫による混雑抑制」について整理しているところです。(P32) ○具体的な対策等については、今後、整備に向けた取組を進める中で、道路管理者や交通管理者とも調整を行いながら、検討することとしたいと考えております。
・せっかくの素晴らしい景観をそこなう建設に反対します。	○本港区エリアへの施設の立地については、御指摘のとおり、桜島の眺望を含む景観への配慮が重要であることから、検討委員会においても詳細な検討がなされたところです。 ○詳しくは、資料2「景観への配慮」をご参照ください。
・ドルフィンポート跡地が最適地。天文館地区への競技者の観光等の回遊性も期待でき経済 効果も期待できる。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地が一番ベストである。県内各地からのアクセスが良く,近くに宿泊 施設やショッピングエリア,観光エリアも多く景観への配慮もなされていてベストな選択で ある。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・ドルフィンポート跡地が最適である。 ・宿泊施設等も充実で大きな大会が開催できる。 ・経済効果が上がってくる。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・県の中心に位置し、市内はもちろん大隅半島、離島からのアクセスもまた、空港、駅から の移動にも最適であると思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・交通の便もよく近くに納屋通りもあり人の集まりやすい場所です。最初からここが一番と 思っていたので大賛成です。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
・あらゆる方面から検討され良い方向に行くと思います。ドルフィンポート跡地で良いと思います。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・コンベンション展示機能を備える施設、体育館建設は賛成します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・老朽化した県体育館再建設をドルフィン跡地に整備される事を希望します。ドルフィン跡地は鹿児島の中心街でもあり、交通の利便性も良く、にぎわい活性化、繁栄、発展の貢献につながり明るい未来が望めます。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・妥当だと思慮致します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。
・出来ればドルフィンポートは残して欲しかった。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・交通アクセスを考えると妥当な判断であると考える。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
鹿児島市内の一等地である候補地に体育館は似合いません。体育館でイベント中に桜島を原因とする爆発、地震、津波、降灰の災害が発生した時、体育館にいる人への災害に対し多くの被害が想像されます。	○検討委員会においては、防災上の課題を含む 12 の客観的な評価項目に基づき整備候補地の絞り込みの検討を行ったところであり、防災上の課題では、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水といった自然災害による影響について個別に検討を行ったところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地のうち、施設本体を配置するドルフィンポート跡地については、県水害リスクマップにおいて、敷地のごく一部が 0.5m 未満の洪水浸水区域に含まれております。基本構想(案)においては、「災害発生時における対応施設としての活用も考えられることから、これら想定される災害に十分対応できるよう、整備に向けた検討を進める必要がある。」(P 4 9)としており、具体的には設計段階で検討してまいります。 ○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第 6 回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備予定地の選定」をご参照ください。
・空港に近い国分,隼人あたりでもいいのではないでしょうか。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
・空港に近い隼人国分周辺でもいいのではないでしょうか。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備地予定地の選定」をご参照ください。
景観を無視するわけではありませんが、利用者の交通の便、駐車場確保を重視して頂きたく 「ドルフィンポート跡地」を強く希望します。	○新たな総合体育館の整備に向けて、引き続き、丁寧な説明に努めながら、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

意見の概要	意見に対する考え方
県立体育館の建設はマリンポートにお願いします。広大な駐車場も必要です。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1「整備地予定地の選定」をご参照ください。
景観の良い―等地である場所を総合体育館建設の候補地としてあげること自体が違うと思います。都市計画のビジョンがないと思いますし、評価結果もドルフィンポート跡地ありきなのではないかと感じました。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料 1 「整備地予定地の選定」をご参照ください。
鹿児島県全体を考えて整備候補地の再考をお願いしたい。 希望・溝辺地区 県の中央に位置し空、高速等のアクセスが大変よろしい。 県の工業団地の土地が利用出来るのでは? 景観がすばらしい(桜島、霧島共に良い) 駐車場等の確保がたやすい 土地の狭いドルフィンポートには全く反対であります。 無理に押し込まなくても良いのではないか。	○検討委員会においては、施設のコンセプト等を踏まえ設定した 12 の評価項目に基づき 5 箇所の整備候補地を評価した結果、ドルフィンポート跡地が最も優位であるとされましたが、本港区エリア全体のまちづくりや中心市街地との回遊性、他の事業との関連も考慮し、ドルフィンポート跡地と住吉町 15 番街区を一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところです。(第6回検討委員会資料参照) ○整備予定地選定の考え方については、資料1「整備地予定地の選定」をご参照ください。